令和３年度阿蘇草原再生活動促進方策検討業務

■業務概要

阿蘇くじゅう国立公園に指定されている阿蘇地域において、地域の営みによって維持されてきた草原は国立公園の重要な構成要素となっている。しかし近年、その草原が急速に失われつつあることから、平成 17 年 12 月に、自然再生推進法に基づく「阿蘇草原再生協議会」が組織され、多様な主体の協働のもと、草原再生に向けたさまざまな協議や取組が行われている。

令和３年度においては、①各種会合運営、②普及啓発の実施（刊行物の作成）、③GIS を活用した情報収集・整理、の３つの主要業務を通じて、草原再生活動促進方策の検討とその推進を行った。

＜業務の全容＞

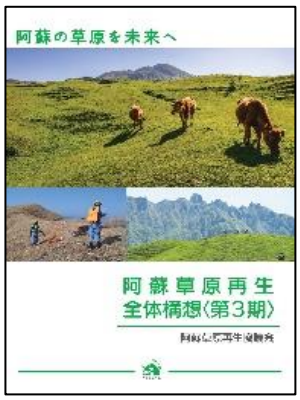
○各種会合運営等を通じた検討（協議会・幹事会・小委員会・情報戦略会議・全体構想策定部会）

【主な検討テーマ】
- 草原再生募金の運用・収集方策
- 草原再生の普及啓発方策
- 阿蘇草原再生全体構想（第３期）・アクションプランの策定
- 「活動計画・活動結果報告」の運用
- 阿蘇草原が有するさまざまな公益的機能に着目した受益者負担方策の検討
  （水源涵養機能に着目した仕組みづくり／環境直接支払制度の導入検討／
  炭素固定化機能の解明のための調査実施とＪクレジット制度導入検討）

○普及啓発の実施（刊行物の作成）
- 草原再生レポート
- 協議会だより
- 第３期全体構想冊子
- 第３期全体構想の普及啓発パンフ

○GIS を活用した情報収集・整理
- 阿蘇草原に関する基盤的情報の収集・GIS 化
- 牧野地図の更新
- 生物に関する既存情報の整理
- GIS プラットフォームの構築へ向けた情報収集・検討

■主な業務紹介（ピックアップ）



＜阿蘇草原再生全体構想（第３期）およびアクションプランの策定＞

全体構想策定部会を中心に、協議会の最上位計画である「阿蘇草原再生全体構想改訂」へ向けた協議を行い、令和３年 11 月に第３期全体構想を策定した。

第３期全体構想には、構成員の主体的取組の更なる促進や、進捗管理への活用を企図して、「30 年後も現在（2021 年）と変わらない規模の草原を残す」との目標を新設するとともに、従来のように地域の営みのみでは広大な草原を維持出来ないことが明らかになってきたため、水源涵養や炭素固定など近年の科学的研究により裏付けられた阿蘇草原の公益的機能を強調し、阿蘇地域内外の受益者に、特に資金・労力面での関わりを拡大する方針を盛り込んだ。

また、第３期全体構想の目標を達成するために、各小委員会において活発な議論を促すためにグループワークを行い、向こう４年間で取り組むべき課題を整理したアクションプランを策定した。

＜阿蘇草原が有するさまざまな公益的機能に着目した受益者負担方策の検討＞

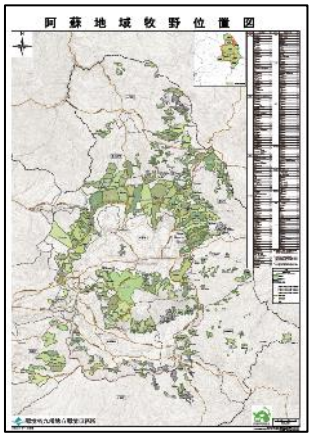
第３期全体構想の策定を受けて、「基盤情報を収集・管理して、重要な課題を科学的・客観的に議論する場」として、「阿蘇草原再生情報戦略会議」を新設し、令和３年度では、阿蘇草原のさまざまな公益的機能の各受益者が草原再生へ資金・労力の両面で支援して貰うための方策について主に協議を行った。

具体的には、生物多様性保全に着目した環境保全型農業直接制度の導入検討や、水源涵養機能に着目した普及啓発策や財政支援策の検討を行った。

＜第３期全体構想の普及啓発パンフの作成＞

策定した第３期全体構想の内容を、牧野組合員等の関係者へ幅広く啓発するために、普及啓発用パンフを作成した。読んで貰うための工夫として、全体構想の概要を示すものではなく、草原再生の最前線に立つ方へのインタビューを中心とした、雑誌調のパンフにすることとした。

普及啓発パンフの構成	
１イントロダクション・目次	６野焼き支援ボランティアインタビュー
２牧野組合長インタビュー	７首長インタビュー
３草原の恵み	８草原環境学習関係者座談会
４協議会会長インタビュー	９草原再生への関わり方
５若手牧野組合長インタビュー	



＜阿蘇草原に関する基盤的情報の収集・GIS 化　および　牧野地図の更新＞

阿蘇草原の基盤的情報（牧野境界、牧野内の地被区分、利用区分、野焼き・防火帯の管理状況）について、各牧野組合関係者へヒアリングを行い情報を収集して、GIS 化を行った。そのデータから、阿蘇地域における全ての牧野の位置や境界を示した牧野地図を作成し、協議会構成員や関係機関へ配布した。

＜GIS プラットフォームの構築へ向けた情報収集・検討＞

「行政機関や研究者など様々な主体が GIS データを共用することで、情報収集・分析の深化、ひいては草原再生に資する施策展開を図る」ことを企図した、GIS プラットフォームの構築へ向けて、下記の作業を実施した。

①各行政機関から提供された GIS データの整理

②データ提供機関および牧野組合へ、データ公開へ向けた意向確認

③「データに関する利用規約」案の策定

【収集データカテゴリ】 森林/牧野/農業/地形・地質/土地利用/水系/植生/生物/法規制など